

**(参考)位置情報を活用した公共交通
利用者の移動経路(速報値)**

(参考) 位置情報を活用した公共交通利用者の移動経路

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



鉄道を移動手段とする道外旅行者の移動経路（2022年）



路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路（2022年）

- 株式会社ナビタイムジャパンが提供するウォーキングアプリ「ALKOO by NAVITIME」から取得されるGPSデータを活用し、統計化・匿名加工処理を行い、根室地域における動態分析を実施

●公共交通利用の判定

(i) 鉄道

ナビタイムが独自に整備した鉄道路線データに対して、当該エリアの鉄道路線の10m以内で測位されたGPSのうち、速度が30～120km/時で移動したGPSが4点以上存在するデータを鉄道利用と判定した。

(ii) 路線バス

ナビタイムが独自に整備したバス路線データを用い、任意のバスの運行に対して、後述する条件を満たすバス停が4個以上存在するデータをバス利用と判定した。

(条件：あるバス停にバスが発着する時刻の前後3分以内にそのバス停から100m以内で測位される)

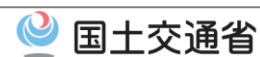
属性	自動車		鉄道		路線バス		鉄道+路線バス		公共交通機関(観光バス)	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
道内	399	191	1	2	3	6	0	0	0	0
道外	157	209	9	6	10	13	8	5	0	1
道内+道外	556	400	10	8	13	19	8	5	0	1

54

移動手段別旅行者数（2021・2022年）

51

(参考) 位置情報を活用した公共交通利用者の移動経路(速報値)



取得データ諸元

次の条件において北海道内で取得したアプリ利用者の位置情報を以下「アプリ利用旅行者」という。

- ◆利用スマートフォン用アプリケーション：
『ALKOO（あるこう） by NAVITIME』（ウォーキング・歩数計アプリ）（GPSデータ）
- ◆対象年：2021年・2022年（暦年）
- ◆対象：①道内居住者（土日祝日・年末年始、お盆等・祝日との間となる飛び石連休の平日）
②道外居住者（全日）
- ◆取得位置情報：
同一メッシュ内（1 Km）に30分以上連続した滞在を1カウント

属性	2021年	2022年	滞在者数の差 (2022-2021)	
	滞在者数	滞在者数	人数	増減率
道内	403	199	-204	-50.6%
道外	184	233	49	26.6%
道内+道外	587	432	-155	-26.4%

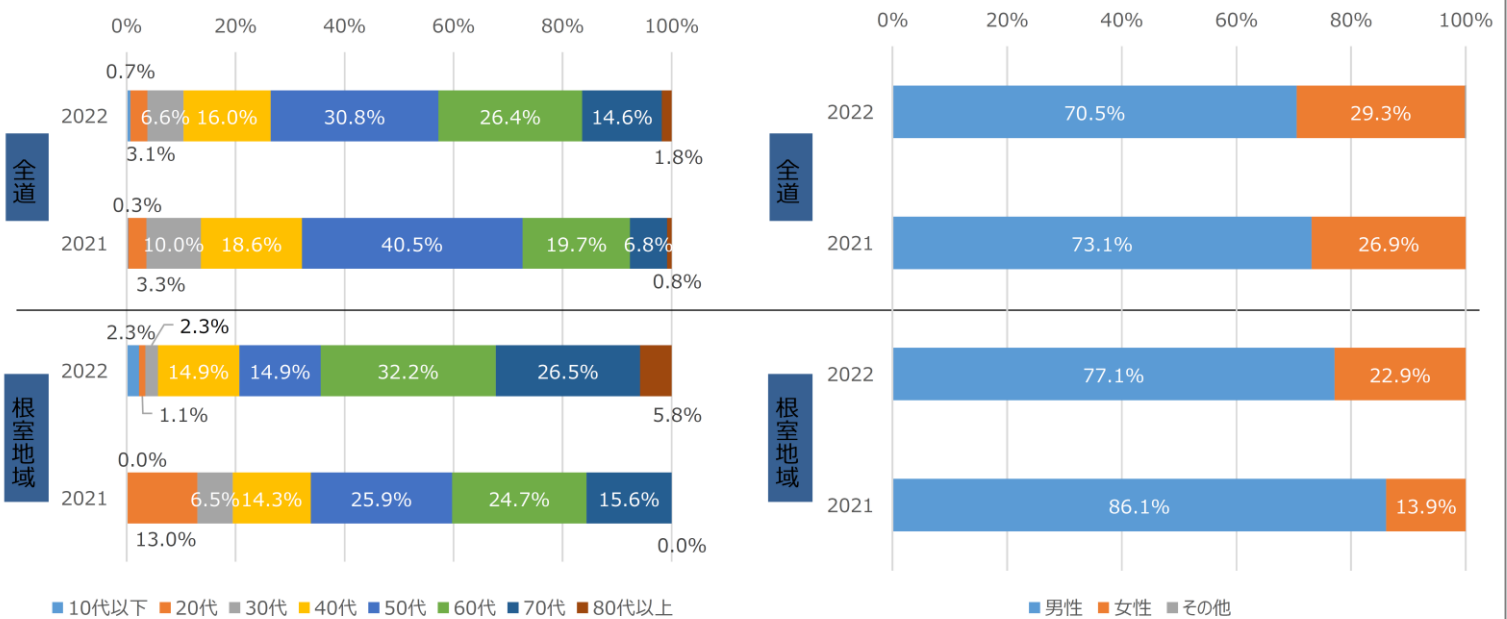
△根室地域における道内外別 旅行者（滞在者）数

(参考) 根室地域を訪問した道外旅行者の年代・性別 (速報値)



○2022年の根室地域を訪問した道外旅行者は、年代別では、60代以上が約65%を占めており、全道の約43%と比較しても多い。また、2021年と比べると20代以下の割合が減少し、60代以上の割合が増加している。

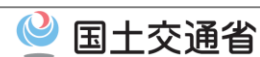
○2022年の根室地域を訪問した道外旅行者は、性別では、約77%が男性であり、2021年と比べると割合が約1割ほど減少した。



△ 年代別旅行者数 (不明を除く) (2022・2021)

△ 性別旅行者数 (2022・2021) **53**

（参考）根室地域における月別旅行者（滞在者）（速報値）

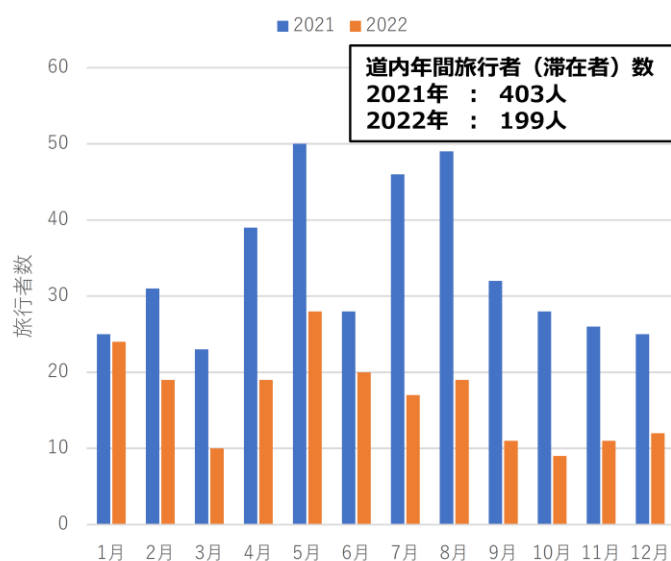


◆道内旅行者（2021,2022）

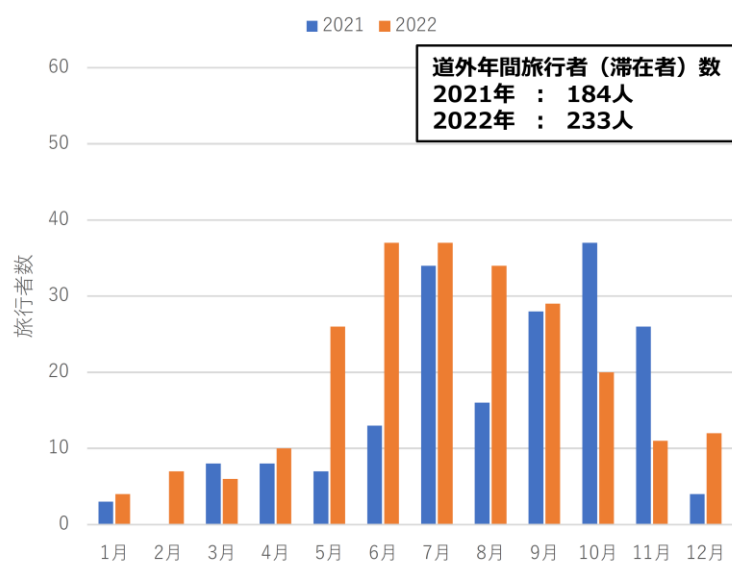
- ・2022年は、2021と比較するとすべての月で旅行者が減少している。（年平均で約49%減少）
- ・特に3月以降は減少幅が大きくなっている。
- ・2022年は、道内旅行者（199人）より道外旅行者（233人）の方が旅行者数が多くなった。

◆道外旅行者(2021,2022)

- ・2022年は、3月、10月、11月を除く各月において旅行者が増加している。（年平均で27%増）
- ・特に5月、6月、8月、12月の旅行者の増加が大きく、対前年比50%以上の増加となった。



△月別旅行者数（道内）



△月別旅行者数（道外）

(参考) 鉄道を移動手段とする旅行者の移動経路 (速報値)



- 2022年の道外旅行者については、根室地域や道東を中心とした周遊が見られ、特に釧網本線の北浜駅や原生花園駅周辺での滞在も見られた。また、一部帯広や滝川方面からの移動も見られた。
- 道内旅行者については、2021年は根室周辺での周遊のみ見られたが、2022年は道東の広い範囲や一部岩見沢市方面からの移動も見られた。



△鉄道を移動手段とする道内旅行者の移動経路 (2021年)



△鉄道を移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2021年)



△鉄道を移動手段とする道内旅行者の移動経路 (2022年)

58



△鉄道を移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2022年)

55

(参考) 路線バスを移動手段とする旅行者の移動経路 (速報値)



- 2022年の道外旅行者は、2021年と同様に、根室地域や道東を中心とした周遊が見られ、一部新千歳空港方面からの移動も見られた。
- 2022年の道内旅行者は、2021年と比較して、根室地域以外にも札幌及び旭川市周辺からの移動も見られた。



△路線バスを移動手段とする道内旅行者の移動経路 (2021年)



△路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2021年)



△路線バスを移動手段とする道内旅行者の移動経路 (2022年)



△路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2022年)

(参考) 鉄道+路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路 (速報値)  国土交通省

- 2022年の道外旅行者は、根室地域の外、札幌駅や滝川駅でも測位されており、広域・長距離周遊している様子が確認できる。
- 2022年には、根室地域内をバスで周遊したと見られるデータが観測できた。
- なお、道内旅行者については鉄道と路線バスの両方を利用した旅行者が見られなかった。



△鉄道+路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2021年)



△鉄道+路線バスを移動手段とする道外旅行者の移動経路 (2022年)

北海道ドライブ観光促進プラットフォームの概要



(株)ナビタイムジャパンが運営するスマートフォン用アプリケーション「Drive Hokkaido!」により**外国人観光客の利便性向上に資する情報を発信**するとともに、**外国人観光客の移動経路等のデータを継続的に把握**し、関係機関と共有することで、**オール北海道でドライブ観光を促進する枠組みを構築**。

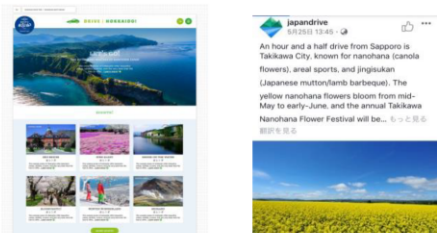
平成30年6月28日設置（11機関）→令和5年2月末現在106機関

目的

プラットフォームは、アプリから得られる**外国人観光客のデータを共有し有効に活用**することで、**北海道における外国人ドライブ観光の促進を図る**ことを目的とする。

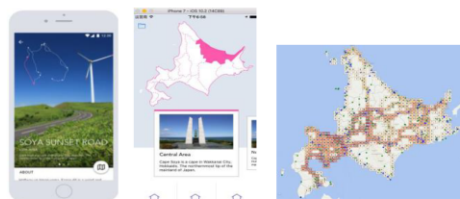
北海道開発局

- ・プラットフォームの運営（事務局）
- ・アプリ運営への協力
- ・参加機関へのSNS等による情報発信機会の提供



株式会社ナビタイムジャパン

- ・アプリの運営及びデータ取得・整理
- ・整理したデータのプラットフォームへの提供及び利活用に係る助言
- ・SNS・WEBサイトの運営協力 等



参加機関（地方公共団体・観光団体等）

- ・共有されたデータの活用等による**外国人ドライブ観光促進の取組を実施**
 - ・より多くのデータ収集のために**アプリのダウンロードを促進**
 - ・開発局が所有、株式会社ナビタイムジャパンが運営する**SNS等を活用し観光情報等の発信を実施**
- ※ 事務局（北海道開発局）にて**参加機関を募集中**

四半期毎に**外国人観光客の動態に係るデータを会員限定のWEBページで共有**するとともに、令和元年5月28日に**参加機関が一堂に会してドライブ観光の更なる促進のための情報交換**を行う会合を開催

北海道ドライブ観光促進プラットフォーム会員の募集



会員に提供される情報等

(株)ナビタイムジャパンが開発したスマートフォン用アプリケーション「Drive Hokkaido!」から得られた外国人観光客に関するデータを提供します。また、プラットフォームにおいて活用するSNSにて地域の観光情報など外国人観光客の利便性に資する情報を発信することが出来ます。

詳細につきましては、資料末に記載するURLから北海道開発局のホームページでご確認ください。



【10kmメッシュ 測位者数】



【10kmメッシュ間流動者数】



【Facebook（フォロワー約130,000人）】

会員が行う活動

- 会員に提供される情報を有効活用し、北海道における外国人ドライブ観光の促進を図る。
- データサンプル数の確保のため、チラシの配付、海外旅行博等でのPR、WEBサイトへのリンクなど、アプリのプロモーション活動（ダウンロード促進）に協力する。



【配付用チラシ】

本プラットフォームに参加を希望される団体等は、北海道開発局ホームページに掲載しております「北海道ドライブ観光促進プラットフォーム」をご覧ください。

URL : <http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001bhbxb.html>

「北海道ドライブ観光促進プラットフォーム」第3回会合を開催  国土交通省

- 北海道局及び北海道開発局は、平成30年度から外国人観光客の動態データを継続的に把握し、地方公共団体や観光関係団体等と共有することで外国人ドライブ観光を促進する「北海道ドライブ観光促進プラットフォーム」を運営。
- 「北海道ドライブ観光促進プラットフォーム」会合は令和元年度から毎年開催し、今年度の第3回会合では、新型コロナウイルス感染症の影響による来道外国人観光客の大幅な減少や第8期北海道総合開発計画の中間点検を踏まえ、国内旅行者を含めたドライブ観光促進に着目して開催。
(会員数：R3.11末現在 106機関)

開催概要 《令和3年12月15日(水)13:30～(札幌第1合同庁舎2F講堂) 参加者数108名(会場48名、WEB60名)》

- 議題1 北海道ドライブ観光促進PF会合提供データ概要について
【北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課】
- 2 移動データから読み解く日本人の行動変容 —ドライブ観光シーンへの影響—
【株式会社ナビタイムジャパン 地域連携事業部長 藤澤 政志 氏】
- 3 北海道ドライブ観光の現状とアフターコロナを見据えた新たな取り組みについて
【北海道地区レンタカー協会連合会 会長 佐藤 謙 氏】
- 4 Withコロナ時代の北海道観光戦略 —観光地経営論の視点から—
【北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授 石黒 侑介 氏】



議題1 北海道ドライブ観光促進PF会合
提供データ概要について

- 北海道ドライブ観光促進PF提供データ概要
- スマートフォンアプリケーション(GPS機能)を活用した北海道における日本人の周遊・滞在状況(地域別のデータ含む)
- ・2019年と2020年を比較した結果、コロナ禍においても岬やキャンプ場等の屋外施設では増加傾向も見られた。



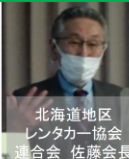
議題2 移動データから読み解く日本人の行動変容
—ドライブ観光シーンへの影響—

- コロナ禍における日本人旅行者の目的地の変化
- ・訪日外国人に人気の観光地への日本人旅行者の訪問が増加。(ex.白川郷(岐阜県)、アドベンチャーワールド(和歌山県))
- ・卒業シーズン、紅葉など季節イベントの観光形態はコロナ前と変化がない。
- ・景観プラスアルファを楽しむドライブが人気。



議題3 北海道ドライブ観光の現状と
アフターコロナを見据えた新たな取り組みについて

- 北海道内主要空港のレンタカー利用状況について
- ・2020年度の外国人レンタカーの利用は大幅に減少。
- ・日本人の利用は、緊急事態宣言解除後の10月1日から平時に戻りつつある。
- ・訪日外国人の今後の受入れに向けて、交通ルールの周知など受入れ体制の整備が必要。



議題4 Withコロナ時代の北海道観光戦略
—観光地経営論の視点から—

- Withコロナ時代の市場展望
- ・国際観光市場は10年に1度のペースで前年割れ。
- ・2019年水準に戻るのは2024年下半年以降。
- ・台湾を軸としたアジア市場と欧米のビジネス市場から回復。
- ポスト2020の北海道観光戦略
- ・周遊型から滞在型へシフト。



2. 第2回北方領土隣接地域（根室地域）観光促進協議会 資料

北海道ドライブ観光プラットフォーム 構成員名簿



1	国土交通省 北海道局	38	美瑛町	73	一般財団法人 石狩川振興財団
2	国土交通省 北海道運輸局	39	美瑛町	74	十勝観光連盟
3	北海道	40	津別町	75	根室市観光協会
4	公益社団法人 北海道観光振興機構	41	湧別町	76	根室観光連盟
5	一般社団法人 日本自動車連盟 北海道本部	42	社管町	77	別海町観光協会
6	北海道地区レンタカー協会連合会	43	厚真町	78	新砂川農業協同組合
7	一般社団法人 札幌地区レンタカー協会 新千歳空港レンタカー協議会	44	厚岸町	79	株式会社 エフエムもえる
8	一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター	45	弟子屈町	80	株式会社 北海道宝島旅行社
9	北海道地区「道の駅」連絡会	46	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所	81	株式会社 北海道博報堂
10	東日本高速道路 株式会社 北海道支社	47	国立大学法人 小樽医科大学	82	ふらのバス 株式会社
11	環境省 ウトロ自然保護官事務所	48	学校法人 北海道科学大学	83	宗谷バス 株式会社
12	札幌市	49	公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会	84	札幌観光バス 株式会社
13	函館市	50	リージョナルスタート研究委員会 地域主催分科会	85	全日本空輸 株式会社 北海道支社
14	小樽市	51	一般財団法人 北海道開発協会開発調査総合研究所	86	株式会社 北海道エアシステム
15	室蘭市	52	北海道経済連合会	87	ニッポンレンタカー北海道 株式会社
16	釧路市	53	北海道商工会連合会	88	オリックス自動車 株式会社
17	帯広市	54	一般社団法人 北海道商工会議所連合会	89	ハートランドファミリー 株式会社
18	北見市	55	札幌商工会議所	90	ワカザリゾート 株式会社 (有珠山ロープウェイ)
19	網走市	56	小樽商工会議所	91	株式会社 日本旅行北海道 国際旅行事業部
20	芦別市	57	岩見沢商工会議所	92	株式会社 近畿日本ツーリスト北海道
21	千歳市	58	砂川商工会議所	93	鶴舞グループ
22	富良野市	59	深川商工会議所	94	株式会社 第一滝本館
23	恵庭市	60	一般社団法人 岩見沢市観光協会	95	トーホウリゾート 株式会社
24	北広島市	61	一般社団法人 芦別観光協会	96	株式会社 北洋銀行
25	石狩市	62	一般社団法人 千歳観光連盟	97	株式会社 北海道銀行
26	北斗市	63	一般社団法人 たきかわ観光協会	98	株式会社 釧路河野開発公社
27	当別町	64	一般社団法人 積丹観光協会	99	株式会社 北海道新聞社
28	七飯町	65	一般社団法人 白老観光協会	100	NPO法人 北海道遺産協議会
29	江差町	66	一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会	101	凸版印刷 株式会社 東日本事業本部 北海道事業本部
30	二七町	67	一般社団法人 登別国際観光コベンション協会	102	株式会社 テリロジーサービスウェア
31	真狩村	68	一般社団法人 ひがしかわ観光協会	103	株式会社 野村商店
32	留寿都村	69	一般社団法人 なかしへつ観光協会	104	知床ねむろ・北太平洋SBWルート運営代表者会議
33	倶知安町	70	一般社団法人 知床羅臼町観光協会	105	株式会社 ナビタイムジャパン
34	余市町	71	一般社団法人 ひがし北海道自然美への道DMO	106	国土交通省 北海道開発局 (事務局)
35	赤井川村	72	一般社団法人 大富カムイミタラDMO		
36	長沼町		一般財団法人 丘のまちえい活性化協会		
37	東神楽町				

以上106機関